

今年もやります！
採択申請書の閲覧も可！

学振特別研究員 (DC・PD)
申請書の書き方 相談会
2/7(木)

人文・社会科学総合教育研究棟

W201室

16:30～18:00



<プログラム>

16:30～17:00

第1部 話題提供 河原純一郎 (心理システム科学講座・准教授)

17:00～18:00

第2部 個別相談会 (個別 or グループワーキング形式)

大学院生、ポスドクの皆さん

昨年度開催し好評だった「学振特別研究員 (DC・PD) 申請書の書き方相談会」が、今年度も開催されることになりました。

この相談会は、申請書を書く心構えや学振特別研究員と研究キャリアデザインに関するセミナーとは別に、5月の申請に向けてより実践的な質問やアドバイスを受け、採択に向けて申請書をブラッシュアップすることを目的としています。専攻ごとに総勢8名の方々が相談員としてご対応くださいます。自分の専門に近い相談員だけでなく、他分野の方の意見やアドバイスを受けるとてもよい機会です。試しに書いてみた申請書を持ち込んでいただくのも大歓迎です。是非、この機会をご活用ください。

<相談員の方々> ※相談員についての詳細は、プロフィールをご参照ください。

- | | | |
|--------------|---|-----------------|
| 歴史地域文化学専攻 | : | 橋本 雄先生・高鳥 廉さん |
| 言語文学専攻 (言語系) | : | 池田 証壽先生 |
| 言語文学専攻 (文学系) | : | 武田 雅哉先生・増井 真琴さん |
| 人間システム科学専攻 | : | 池田 透先生・横山 実紀さん |



昨年度の様子は
こちらから

【お問い合わせ】

文学研究科 研究推進室 (研究棟2階203 室) Tel: 011-706-4023/ E-mail: kenkyu@let.hokudai.ac.jp

話題提供者・相談員のプロフィール & 申請者へのメッセージ

河原純一郎 (心理システム科学講座・准教授)

専門は注意、記憶、魅力の認知心理学です。「もうひとつの法と心理学研究」も始めました。企業との共同研究を通じて社会貢献を目指しています。

💬 説得力の高い学振申請書を準備するためには、(当然ですが)質の高い内容が必要です。これを審査者に読んで貰いやすいように順序立てて書きます。相談会では具体的に説明します。



Linguistics

池田 証壽 (言語情報学講座・教授)

専門は、国語学、国語史。特に古辞書の国語学的研究、漢字コード開発に関する研究。学振申請書指導経験豊富、審査員経験あり。ゼミ生から採択者多数。

💬 今は小さな成果であっても、それを積み重ねてゆくと、誰もが成し遂げたことのない大きな成果となります。自分のテーマに自信を持ち、大きな夢を計画書に盛り込みましょう。世界は、将来性のある研究者を求めています。学振特別研究員への申請は、皆さんの研究の未来を切り開く大きなチャンスです。是非ともチャレンジしてください。

Human Sciences

池田 透 (地域システム科学講座・教授)

専門は、保全生態学、野生動物管理学、社会生態学、外来種管理問題。

競争的資金の採択経験・指導経験豊富。

💬 専門以外の人にも内容が理解できるような丁寧な説明を心懸けるとともに、内容が一目で把握できるポンチ絵やインパクトのある図などの工夫も効果的です。抽象的な記述は避けて、研究の実現可能性を具体的にアピールしましょう。

横山 実紀 (行動システム科学専修・H31 DC1)

専門は、社会心理学、科学技術コミュニケーション。忌避施設立地の合意形成手法を公正感に着目して研究している。

💬 申請書を書く際に、専門分野以外の人に伝えるという意識を持つことで、研究を深く理解することにもつながり、それが表現の改善につながりました。内省と誰かとの議論を繰り返す中でブラッシュアップできるとよいのではないかと思います。

History and Area Studies

橋本 雄 (日本史学講座・准教授)

専門は、中世日本国際交流史。文化財科学や美術史、文学などのアプローチに学びながら、外交文書や貨幣、雪舟などを研究中。それぞれに科研費を使って共同研究や「一人学際」をやっています。

💬 「この研究は自分にしか出来ない!」「税金を投入するにふさわしい、世界に貢献できるテーマだ」と思えるくらいの迫力で、申請書は書いてほしいですね。

高鳥 廉 (日本史学専修・H30 DC2)

専門は日本中世史。中世後期の政治権力と寺院との関係から、室町時代の政治秩序の形成過程を研究中。

💬 学振申請書は、専門外の人にも理解でき、研究の意義が正確に伝わるように書くのが理想。論文同様、どのように書けば正確かつ魅力的な申請書になるかを模索し続けることが、一番の近道だと思います。

Literature

武田 雅哉 (中国文化論講座・教授)

専門は、中国文化・文学。中国のマンガ<連環画>についての著書で、2017年度日本児童文学学会特別賞を受賞。同じテーマで科研費も実施中。

💬 研究課題に自信と情熱があれば、あとはそれを、魅力的に相手に伝えるだけ。メリハリのある、わかりやすい日本語で書くというのは、小学生の作文と変わらない、基本中の基本だと思います。

増井 真琴 (映像・表現文化論専修・H31 DC2)

専門は、日本近代文学。研究テーマは、児童文学作家・小川未明の詩業と思想展開について。論文に、「小川未明の漢詩 ——高田中学時代の詩業」(『日本漢文学研究』2018年)など。

💬 「自分の経歴・業績ではどうせ採用されない」と、はじめから諦めている人は多いと思いますが、意外とそんなことはないかもしれません。学振は「ダメで元々」の精神で、とにかく挑戦してみる事が大事なのではないかと考えます。

※相談会会場に、採択された申請書の閲覧コーナーを設置予定です。(複写・持出禁止)

